

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路課長 足立眞清 (丸岡 剛)	内線	4 4 7 4 (4480)
------	-----	---------------------	---------------------	----	-------------------

事業種目	街路事業	事業採択年度	昭和48年度		現計画	再評価時点
事業名	都市計画道路 山手幹線(神崎工区) (県道 高田久々知線)	着工年度	昭和48年度	総事業費	59.9億円	63.9億円
		再評価年度	平成10年度	内地補償費	51.0億円	54.0億円
事業区間	尼崎市高田町～神崎町			完成予定年度	平成16年度	平成11年度
所在地	尼崎市高田町～神崎町			進捗率	96.7%	70.1%
				(内地補償費)	(100.0%)	(73.3%)
				(用地取得面積)	(100.0%)	(95.3%)
事業の目的				事業内容		
阪神間の東西主要幹線道路の整備 国道2号、43号を補完し、阪神間各市を東西に連絡する4車線の主要幹線道路として広域道路ネットワークの形成を図る。 都市防災機能の強化 阪神淡路大震災で被災した尼崎市戸ノ内地区のアクセス道路として、都市防災機能の充実を図る。				道路改築 L = 803m ・現道の拡幅(4車線化) ・右折レーンの設置 ・自転車歩行車道の設置 現況幅員：2車線 W = 6.0(7.0) 計画幅員：4車線+3.0m両側歩道 W = 13.0(27.0)～(37.0)m 用地面積：18,300m <sup>2</sup>		
進捗状況	現状 ・用地買収も既に完了している。事業区間のうち540mの区間において完成供用済みで、残る区間263mの工事を残すのみである。 経緯 ・大規模工場の補償交渉が難航したが、平成13年度末に建替が完了し用地取得済である。 ・隣接する戸ノ内工区の橋梁架換工事にあわせ、道路の切り替え等を行う必要が生じた。 今後の予定 ・戸ノ内工区の橋梁架換工事との取合い工事を残すのみであり、平成16年度の完成供用を図る予定である。					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	・国道を補完する阪神間の東西主要幹線道路としての位置づけは現在も同じであり、緊急輸送道路でもあることから、防災上の必要性も非常に高い。 ・戸ノ内地区のアクセス道路として早急に整備する必要がある。					
(2)有効性・効率性	・戸ノ内工区の橋梁整備とあわせ、事業効果の早期発現を図る必要がある。 ・費用便益費 B / C = 3 . 4					
(3)環境適合性	・歩道では、連続植樹やインターロッキング舗装を行い、沿道の住環境の調和と保全に努めている。					
(4)優先性	・用地取得が完了しており、平成16年度の工事完成の見通しも立っている。					
再々評価の結果	継続	左の理由	上記理由により継続が妥当である。			